

授業科目名		担当講師名		対象学年	
解剖生生理Ⅳ・感覚器		郡山 昌敬 大野 郁夫 川上 延代		1年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	教室	後期		
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	目、鼻、耳、皮膚、外部の情報の受容器				
到達目標	正常な人体の形態、機能に関連づけて系統的に理解し、生命への畏敬の念を育む。 外部情報の入り口としての、感覚器の構造と働きを理解する。				
事前学習	教科書を読んでおく。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第8章 情報の受容と処理 G 眼の構造と視覚・主な疾患について ・眼球の構造
2	・視覚の伝導路と認識・眼球運動・眼球に関する反射 ・先天色覚異常と色覚バリエーション
3	H 耳の構造と聴覚・平衡覚 ・聴覚 外耳・中耳・内耳
4	I 味覚と嗅覚 ・味覚受容器の構造と味覚・嗅覚受容器の構造と嗅覚 ・疼痛の発生機序
5	第9章 外部環境からの防御 皮膚の構造と機能・生体の防御機構
6	皮膚の構造と機能・グループワーク
7	終講試験
履修上の要件	特になし 感覚器の疾患については疾病と治療Ⅲで履修する。
テキスト、教材、参考書	医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学
成績評価の方法	筆記試験 腎泌尿器・男性生殖器・女性生殖器とあわせて解剖生理学Ⅳの単位とする。
備考	